

# テーマ 2: 経済安全保障のジレンマ 解答解説

## 模範解答(設問別・3 パターン)

### 問 1(180 字以内)

- **解答 A(理論重視):** 国家が共通の行動様式や価値体系に支えられた「価値の体系」としての側面を持つからである。この価値体系は歴史的に形成されたものであり、国や地方によって異なる特殊なものである。そのため、ある国が正しいと信じる正義や常識が、他国からは誤っていると見なされることは稀ではなく、それぞれの国が固有の価値基準に基づいて異なる「正義」を掲げることになるのである。
- **解答 B(経済安保接続型):** 国家は力の体系・利益の体系であると同時に、独自の価値の体系もあるからである。現代の経済取引においても、強制労働や人権侵害を巡る懸念のように、行動基準や価値体系の相違が取引の是非を左右する要因となっている。このように、各国の歴史的背景に基づく異なる「常識」が、国際社会において特定の正義ではなく、並立する複数の正義として表出するためである。
- **解答 C(簡潔・要約型):** 各国を律する価値体系や行動規準は歴史的に作られた固有のものであり、普遍的なものではないためである。国家を支える「常識」は国によって異なり、ある国の正しさが他国では誤りとされることもある。現代の経済関係でもこの価値の相違が緊張を生んでおり、国際社会は単一の正義ではなく、国ごとの「特定の正義」が多層的に存在し衝突する場となっているためである。

### 問 2(200 字以内)

- **解答 A(標準):** 困難な状況に直面した際、戦争の原因を特定の勢力に求め、その悪役を除去すれば平和が得られると考える単純な「善玉・悪玉」的な思考のことである。また、軍備さえなくせば平和が訪れるといった単純な現状認識に基づき、自らは何も変化せず、複雑な利害関係や価値の対立を無視して短絡的な解決策に依存する態度を指す。このような思考は行動においては勤勉であっても、知的労働を省くものである。
- **解答 B(構造理解):** 複雑な国際政治の構造を単純化し、特定の悪い勢力を非難・除去すれば問題が解決すると考える思考様式である。国家が力・利益・価値の三側面が絡み合った複合物であることを無視し、单一の側面、例えば武器の存在や特定の指導者の気まぐれにのみ原因を求める態度を指す。現状の自分たちの生活を変えずに済む安易な解決策に酔いしれ、眞の困難な問題解決から目を逸らす知的労働の回避のことである。
- **解答 C(現代的解釈):** 複雑な事象を単純明快な図式に押し込み、知的労働を省く態度である。例えば経済安保のジレンマに対し、一方的な経済封鎖や特定の国の排除だけで平和が保てる信じるような、多層的な利害対立を直視しない姿勢を指す。闘争心を駆り立てることで行動的には勤勉になるが、問題の根底にある利益の衝突や価値の相違を分析することを放棄し、解決したと思い込む錯覚に陥ることを筆者は批判している。

### 問 3(600 字以内)

経済安全保障という概念の台頭は、経済的な相互依存が自動的に平和をもたらすというかつての楽観主義を終焉させた。これは、国家が単なる「利益の体系」であるだけでなく、生存を目的とした「力の体系」や独自の「価値の体系」を併せ持つ複合物であることを再認識させるものである。

今後の国際協力において重要な視点は、経済的利益と安全保障、そして価値観の相違をいかに調整し、共存を図るかという「多層的な管理」にある。例えば、米中対立に見られるように、供給網からの排除を意味する「デカップリング」は、相互の経済的利益を損なうだけでなく、対立を先鋭化させ軍事的な衝突のリスクを高める「安全保障のジレンマ」を引き起こす可能性がある。

したがって、平和のあり方は、単一の「正義」や「利益」の押し付けではなく、互いの「常識」の相違を前提とした実務的な対話へとシフトすべきである。完全に依存を絶つのではなく、重要な分野での自律性を確保しつつも、他の分野での相互依存を維持することで衝突の代償を高く保つ「デリスキング」が現実的な解となる。

結論として、経済安全保障の時代における平和とは、知的な怠惰に陥り悪役を排除することではなく、力・利益・価値の三つのレベルで生じる摩擦を絶えず調整し続ける、粘り強い知的・政治的営みの集積でなければならない。複雑に絡み合う依存関係を戦略的に管理することこそが、新たな国際秩序の基礎となる。

## 採点のポイント・解説

1. 問1: 「価値の体系」「歴史的・特殊な常識」「特定の正義」というキーワードを使って説明できているか。
2. 問2: 「善玉・悪玉論」と「自分たちは変わらなくて良いという免罪符」の両面に触れているか。
3. 問3: 相互依存の武器化を理解し、利益と安全のジレンマを「デリスキング」などの概念を用いて論述できているか。